

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	ボランティア育成事業		コード	福祉事務所障害者福祉係
			02-01-03-26	担当者 坂本 寛
事業実施期間	平成17年4月1日～平成18年3月31日		電話	内線183
総合計画 事業（政策）体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり		
	中項目	やさしさあふれるまちづくり		
	小項目	障害者（児）福祉		
	施策	ボランティアの育成		

事業について	
目的	手話奉仕員及び要約筆記奉仕員を要請することにより、聴覚障害者、難聴者の福祉増進に資するとともに、中途失聴者、難聴者のコミュニケーション手段として指導を行う。
対象 (誰のために)	市内在住在勤で15歳以上の方
内容	手話奉仕員及び要約筆記奉仕員の養成講座を社会福祉法人等へ委託し、実施する。

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
手話奉仕員養成研修受講者数	18 人		
要約筆記奉仕員養成講習受講者数	3 人		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	483	国庫補助金等	362	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	1,435	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	1,918	市債		合計	0	市債	

必要人員	0.15	人
結果指標名	手話奉仕員養成講習受講者数	
結果指標量	18	
単位	人	
対前年比	—	0.00%
事業費	967,500	円
単位当たりコスト①	53,750	円

結果指標名	手話奉仕員登録率	
結果指標量	17%	
単位	—	0.00%
対前年比	—	
事業費		円
単位当たりコスト②		円

事業の成果			
成果指標名	手話奉仕員登録率	式又は説明	登録者/受講者数
成果指標量	17%		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	30%	到達目標年度	毎年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価	
コメント	養成講習としてはある程度の成果はあがっていると思うが、奉仕員の登録という点では今後、登録者数を増やしていく必要がある。
評価区分	<A~E> B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	30	結果指標量②	
目標値	結果指標量	30	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	手話奉仕員派遣事業の実施	20年度	聴覚障害者の社会参加

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

奉仕員を養成することにより、地域生活支援事業である要約筆記派遣事業等奉仕員として活動することを目指す。

参加人数が減少傾向にあるので、開催時間、曜日、場所について検討する。

手話奉仕員の派遣事業を実施していないので、将来的には派遣事業を実施したい。